

# 地元離れ初ステージ

26日 県民会館 ひたむきな演技、大舞台で

## 劇団ブーメラ

昭和中学校三組(特殊)



昨年11月の公演「オズの魔法使い」から

学校)の生徒や卒業生らでつくる「劇団ブーメラ」(代表・前原通宏教諭、団員二十五人)の前橋公演が二十六日午後一時半から、群馬県民会館小ホールで開かれる。結成から五回目の公演にして初の、地元・桐生地区を離れてのステージ。同じく初のチャレンジとなる「英語劇」など二本を上演する。

平成九年度の同校文化祭での演劇発表をきっかけに、三組の在籍生徒や卒業生、その仲間たちが集って翌年結成された演劇グループ。これまでに同校体育館や市民文化会館、ながめ余興場などで公開公演を行っているほか、社会福祉施設への慰問など幅広く活動している。昨年度には県児童生徒文化活動表彰を受けている。

「けっして上手ではないけれど、役者たちのひたむきな演技、スタッフ自作の衣装や大道具など手作りの舞台がセールスポイント」という同劇団。今回は「第十六回国民文化祭ぐんま2001」自主企画事業の一つとして、県民会館小ホールと

初の英語劇など2本立て

いう上  
県民  
すこ  
上海  
劇「S  
E(山  
「サウ  
「シッ  
て。「  
下の  
ツクキ